令和8年度 スクール・エンパワーメント推進事業
情報活用能力をはぐくむモデル校

取組み内容：学習単元計画表を活用し、学びスキルを意識した授業づくり！

羽曳野市立西浦小学校

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

C-STEP2　C-STEP3　E-STEP3

単元名： 5年生　算数科 『比例　変わり方について調べよう(1)』

単元の目標： 比例の関係がわかり、表から見つけることができる。 (知・技)
(つけたい力) 比例の関係に注目し、表や式からわかることを説明できる。 (思・判・表)
数学のよさに気づき、日常生活で活用（応用）しようとする。(態度)

① 課題の設定

単元のパフォーマンス課題

プールに水をためるときの
時間・はやさ・料金について
比例の考え方を活用し自分なりの
考えを説明しよう！

S問題 のゴール
A問題 のゴール
B問題 のゴール
問題の答えを比例を活用してもとめ
自分の考えを相手に説明する

児童の日常・レベルに寄り添った課題を設定し、単元のはじめに児童と共有しています。共有することでめざすべきゴールが明確化し、安心して学びを進めることができます。

② 情報の収集

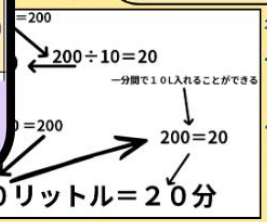
児童が自分で課題解決に向かって、学びを進められるように、児童が必要な情報をいつでも見られるようにクラウド上にリンク集を作っています。

学習単元計画表はこちら

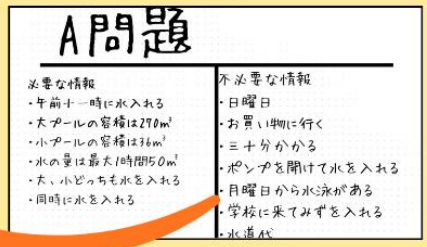
「学びサイクル」リンク集

課題の設定	情報の収集	整理・分析
ルーブリック 1組 2組	復習スライド eboard eboard	先生問題 表と思考ツール 算数カード
まとめ・表現	ふりかえり・改善	アプリ
まとめる君 をさがして！	1組 2組	思考ツール図鑑 比例シュミレーション

③ 整理・分析



表や思考ツールを活用し、子どもたちがそれぞれのやり方で、課題を整理・分析できるようにし、他者参照しながら自分の考えを深められるようにしています。





④ まとめ・表現

説明の「ま・つ・だ」
まず　次に　だから

順番の「ま・つ・さ」
まず　次に　さいごに

例文
まず、Aは～です。
次に、Bは～です。
比べるとAの方が～です。
つまり、～なのです。

○頭括型（とうかつがた）
答え→過程（説明、考え

○尾括型（びかつがた）
過程（説明、考え）→答

○双括型（そうかつがた）
答え→過程（説明、考え

まず、ポンプを開けて水を入れる。
次にプールに来るときにはポンプをしめる
つまり「大プール、小プール同時水入れ同時ストップ作戦」をおこなう！

では、同時の満水にするには、大プールと小プールそれぞれ
1時間に何㎥ずつの水を入れるといいですか？
ちなみに、水があふれるとムダになった水の分、ムダな水道代がかかる
同時にストップするためには、何時にプールに行けばいいですか？

児童が自分に合った方法で、考えを表現できるように、表現するための話型をいくつか示しています。

⑤ ふりかえり・改善

マイめあて	情報を整理できた	ルーブリック	学び方レベル	達成度
今日はなだらとホワイトボードに書を簡潔書いて、問題をで書るように補習りたいです	わかった！	バッチリ	バッチリ	90%
今日は、PK問題を、友達に説明出来るように友達とPK問題を問題を選める。	わかった！	バッチリ	バッチリ	90%
今日は、友達とPK問題をやっていきたいです。	説明できる！	バッチリ	バッチリ	90%

ふりかえり	文字数
今日は　とやって、一緒に比例の問題をできました！A問題もできて嬉しかったです！自分たちでパソコンで作ったスライド？みたいなのを使ってしっかり考えたり、考えを深めたりすることができました！次はS問題をできるように頑張りたいです！	118
今日は、PK問題をしました。canvaを使って友だちと共有しながら考えていきました。canvaだと、いろいろなことができるのでとてもよかったです。例えば、先生のA問題などをコピーして乗せることができたりするのでとても便利です。今日は、A問題をしたかったけれど、B問題をしないといけなかったので、B問題をしました。A問題ができませんでした。	170

授業のふりかえりだけではなく、授業のはじめにはマイめあてを書くことで、児童が単元のつながりを意識して、自分の学習を見直せるようにしています。